

第4回地域福祉計画推進委員会修正・意見等及び対応状況

第5回推進委員会 令和5年11月17日（金）	資料2
---------------------------	-----

ページ	意見等	修正前	修正後
5,6,8	基本目標5で「高齢者や障害者が暮らしやすい住環境の整備」を取り上げるのであれば、第1章で紹介する個別計画の中に、住生活基本計画も含めなくてよいか		佐倉市住生活基本計画を追記
10	【図】 自助、互助・共助、公助のイメージを第4次計画の図に戻せないか		第4次計画の図に戻した
11	◎自助、互助・共助、公助とは 「公助」の説明文の「年金・保険」は「年金・保険制度」の誤りでは	年金・保険	年金・保険制度
11～	圏域の説明に、地区社協の区割りを加えるべき		地区社協の区割りについては、P91「地域福祉コーディネーター」の枠に追記
19	(2) ボランティア活動の説明文 ボランティア活動への参加について「特になし」が53.8%と多い理由として、仕事、家事育児、参加したい活動がない等が挙げられているが、むしろ、コロナ禍で活動自体ができなかったことが大きいのではないかと  (3) 民生委員・児童委員活動の説明文 民生委員・児童委員に求められる役割が多様化し、支援の困難性や活動量の増加等があることが、なり手不足の要因であるとされているが、高齢者の働き方が変わってきたことも要因だと思われる	参加しない理由として「仕事や家事育児で忙しい」「参加したい活動がない」「人間関係が煩わしい」等様々です。	参加しない理由として、この間新型コロナウイルスの影響で、活動自体が失われたことに加え、「仕事や家事育児で忙しい」「参加したい活動がない」「人間関係が煩わしい」等様々です。
22～	施設の状況は施設ごとに異なるので、「業務の減少」「工賃の減少」などと言いつつ、「影響があった」くらいの表現でも良いのではないかと	(4) 経済の不活性化による影響→生活困窮者等の増加（例） ・緊急事態宣言の発令・時短営業の要請等により、休業や失業者が増加し、生活困窮等の相談件数が増加した ・障害者の就労支援施設が受注する業務が減少し、障害者が受け取る工賃が減少した	○経済の不活性化による影響→生活困窮者等の増加 ◆・障害者福祉作業所の受注の減 ◇・親が減収、失業し、教育費が出せず、進学や進路に影響が出ている家庭が増えている  ※◆◇は引用元（P22に追記） (福)東京都社会福祉協議会 ◆R3「コロナ禍で顕在化した地域課題」より ◇R4「コロナ禍で顕在化した地域課題への対応方策」より
32	(1) 権利擁護の推進、成年後見制度の担当課として高齢者福祉課が記載されているが、障害福祉課も記載すべきと考える。	高齢者福祉課	高齢者福祉課、障害福祉課
33	基本目標1の施策「インクルーシブ教育」の説明中、「授業を受けさせる」という表現は適切ではないと考える	※インクルーシブ教育 障害児童が「特別支援学校」又は「特別支援教室」などに在籍せず に健常児と同じ教室で同じ授業を受けさせる教育。	※インクルーシブ教育 国籍、人種、障害などの違いに関係なく、すべての子どもが同じ場所とともに学びあう教育。 (例) 障害のある子が「特別支援学校」又は「特別支援教室」などに在籍せずに、健常のない子と同じ教室で同じ授業を受ける等。

ページ	意見等	修正前	修正後
48	基本方針として、コロナ禍で停滞した市民活動をコロナ禍以前に戻すべくと いうように記載されているが、今年度に入って復活の兆しが見えているとこ ろなので、そこを捉えた表現ができないか	□基本方針 第5次計画では、停滞した市民活動を、コロナ以前の状態に少しでも 戻すべく～	□基本方針 復活の兆しが見えつつも、未だ新型コロナ感染の影響等により停滞した 市民活動を～
62	基本目標5の施策に関連して「生活一時資金貸付事業」との記載があるが、 「生活福祉資金貸付事業」が正しいのではないか	生活一時資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業
88	資料編にSDGsの解説があるが、これを本文に入れてはどうか		P15に移動